

## 投 稿 規 程

(平成 20 年 6 月改正)

1. 著者は原則として秋田医学会会員とする。
2. 原稿は和文および英文の原著，学位論文，総説，症例報告，学会報告，特集，会報などとする。
3. 原稿の採否は，一定の審査を経て編集委員会が決定する。掲載の順位は原則として受付順とする。学位論文の審査は，研究科委員会の結果を考慮する。この場合，学位論文であることを明記する。
4. 原稿は原著，症例報告の場合は正 1 部，副（コピー）2 部を，学位論文，特集，総説，学会報告，会報の場合は正 1 部を作成して編集部（〒 010-8543 秋田市本道 1 丁目 1 番 1 号 秋田大学医学部内 秋田医学編集部）へ送付する。但し，秋田大学医学部に在籍の会員は所属講座主任教授を通して提出する。原稿を提出する際，別紙の「秋田医学」掲載申込書を添付する。また審査を必要とする原著・症例報告の場合は，原則として論文審査員候補者の中から，希望する審査員 3 名を記載する。最終原稿には，電子媒体を添付する。ただし学位論文に限って，電子媒体の添付は事情により免除できる。
5. 掲載料は印刷ページで和文 4 頁まで，英文 3 頁まで無料とし，超過ページ分は著者負担とする。カラー写真印刷については別途請求する。
6. 別刷はすべて有料とし，最小部数を 20 部とする。それ以上は 20 部単位で申し受ける。
7. 掲載論文の著作権は秋田医学会に帰属する。
8. 原稿作成上の注意事項
  - 1) 和文原稿は現代かなづかいで，横書きとし，A4 判の用紙を用いる。1 ページの字数は読みやすければ，22 字× 25 行ということにこだわらない。英文論文の場合は A4 判タイプ用紙にダブルスペースで印字する。和文原著ならびに総説は原則として原稿用紙で 40 枚（文献共），症例報告は 20 枚以内とし，表，図（写真）はそれぞれ原稿用紙 1 枚と換算する。英文原著は原則として A4 判タイプ用紙 20 枚，症例報告は 10 枚以内とする。
  - 2) 原稿には表紙をつけ，次のように記載するほか，表紙の下方に表や図の数，別刷希望部数ならびに学位論文の場合は取得年を明示（朱書）する。
    - (1) 和文原稿：和文標題，著者名，所属，英訳標題，ローマ字表示著者名（Takao Kitahara のように記載する），英文所属の順に記載する。また，20 字以内の和文欄外見出しを併記する。
    - (2) 英文原稿：英文標題（大文字を用いること），ローマ字表示著者名（Takao Kitahara のように記載する），英文所属の順に記載する。また，数語程度の英文欄外見出し（running head）を併記する。
  - 3) 和文および英文原稿のうち原著，学位論文，症例報告の形式は，英文抄録，緒言，材料および方法，成績，考察，謝辞，文献の順序またはこれに準じた形式をとることが望ましい。
  - 4) 英文抄録は，原則として 200 語以内とし，5 個以内の英文キーワードをつける。
  - 5) 学名の属・種名やイタリックとして印刷される部位にはアンダーラインをつける。ゴチックについては編集部で処理する。
  - 6) 数を表すにはすべて算用数字を用いるが，成語はそのままとする。  
例：一般，同一。

- 7) 外国の地名、人名などは原則として元の綴りのままとし、外国語文字はすべてタイプライターで印字する。
- 8) 度量衡などの単位は国際単位を用い、略号の後のピリオドはつけない。  
長さ：km, m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ , nm；重さ：kg, g, mg,  $\mu\text{g}$ , ng, pg  
容量：l, ml,  $\mu\text{l}$ ；時間：h, min, s  
濃度：M, N, ppm；その他： $\text{km}^2$ ,  $^{\circ}\text{C}$ , %, rpm, kD,  $\times$  g, kcal  
文字の省略：SD (standard deviation)；SE (standard error of means)；A (absorbance)；P (probability)
- 9) 引用文献は本文の引用箇所の上肩に片カッコをつけて、引用順に番号を付し、末尾には次の記載例に従って番号順にまとめる。  
著者が11人以上の論文は最初の3名の名前を記し、和文では「ら」を、また英文では“*et al.*”を付し、以下を省略する。引用雑誌の略称は医学中央雑誌掲載誌目録および Index Medicus に準拠する。

#### 原著文献

1. 福島峰子, 太田博孝, 真木正博 (1983) 子宮内膜症に対する Danazol 投与の効果と内分泌学的変動. 日不妊会誌 **28**, 273-281.
2. Saffhill, R., Margison, G. and O'Connor, I. (1985) Mechanisms of carcinogenesis induced by alkylating agents. *Biochim. Biophys. Acta*, **823**, 111-145.

#### 単行本

1. 熊田 衛 (1970) 心臓のダイナミクスと心拍出量. 鈴木泰三, 星 猛 (編) 臨床生理学. 南山堂, 東京, pp. 330-359.
  2. Hatch, F.T., Felton, J.S., Stuermer, D.H. and Bjeldanes, L.F. (1984) Identification of mutagens from the cooking of food. In de Serres, F.J. (ed.) *Chemical Mutagens: Principles and Methods for their Detection*. Plenum Press, New York, vol. 9, pp. 111-164.
  3. Bennett, M.V.L. and Spray, D.C. (1985) *Gap Junctions*. Cold Spring Harbor Laboratory Press, Cold Spring Harbor, NY.
- 10) 和文および英文原稿のうち原著、学位論文、症例報告の図、表、写真とその説明文は本文とは別にまとめ、本文原稿欄外に挿入箇所を明示する。和文原稿の図説明、表は和文のままでもよい。図、表は白色上質紙または薄青色方眼紙に墨または黒インクで鮮明に書き、写真には縮尺を指示する。顕微鏡写真（電顕写真を含む）には拡大倍率および染色方法を明示する。また、図、表の脚注の順序を示す記号は次の順に用いる。  
1, 2, 3, …… , \*, †, ‡, ……。
- 11) 臨床治験に関しては「ヘルシンキ宣言」、また動物を用いた研究は「秋田大学医学部動物実験指針」あるいはこれに準ずるものを遵守したものでなければならない。また、このことを本文中に明記する。
  - 12) 文部省科学研究費等の研究費の出所は謝辞の項に記載する。
  - 13) 校正は原則として初校のみ著者が行う。文章の削除、挿入等は特別な理由がない限り許されない。